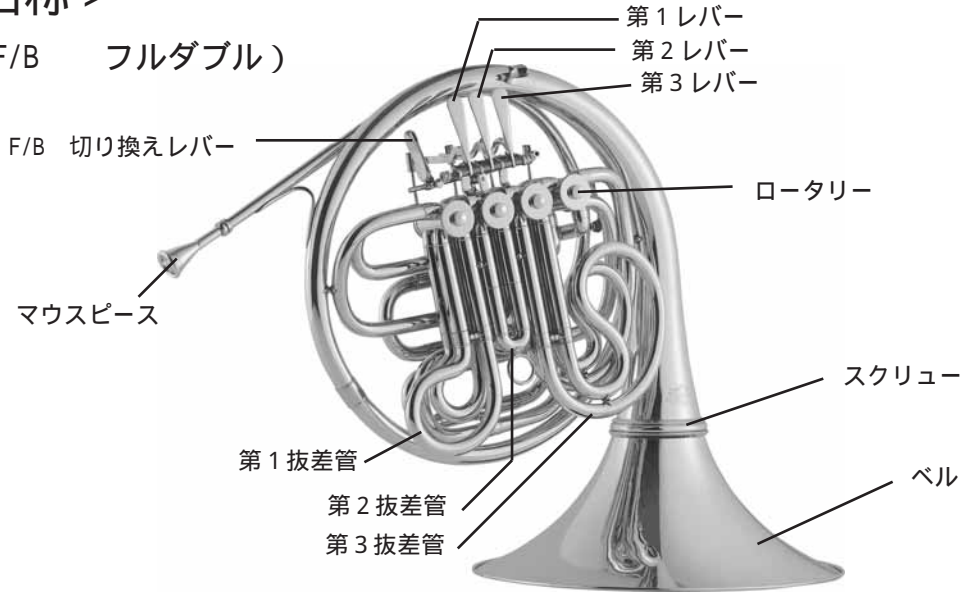


HORNの取り扱い

< 各部の名称 >

ホルン (F/B フルダブル)



< 演奏前の準備 >



- ロータリーオイルの注油
抜差管を抜きます。
- * 抜差管を抜き差しするときは対応するレバーを押しながら行ってください。それぞれのロータリーにオイルを数滴注油します。このとき外管の内側にオイルがつかないように注意してください。
- * ロータリー用のオイルを使用してください。思わぬ故障の原因になることがあります。抜差管を元に戻し、レバーを数回動かしてオイルをなじませます。
- ベルの取り付け
スクリュー部はネジ山が正しくかみ合っていることに注意し、ベルを取り付けます。
- * 安定した場所で取り付けてください。落下の原因になることがあります。
- マウスピースの取り付け
マウスピースは軽く回すように入れます。
- * 絶対に強く押し込まないでください。抜けなくなることがあります。

< 演奏後のお手入れ >



抜差管を抜き、管内の水分を出します。演奏前と同様にロータリーにオイルを注油してください。クロス等で管体表面の汚れやほこりをふき取ってください。

< 月に1～2回のお手入れ >



ロータリーの手入れ
ロータリーのキャップをはずし、ロータリーの中央の軸を支えている所にオイルを少量注油します。(写真A参照)

- * ロータリー軸用のオイルを使用してください。思わぬ故障の原因になることがあります。



ロータリーの回転軸と軸受けにもオイルを少量注油します。(写真B参照)
キャップをしめて、オイルがなじむようにレバーを数回動かします。

抜差管の手入れ
それぞれの抜差管を抜きます。ガーゼ等をクリーニングロッドに金属が露出しないように巻きつけ、抜差管の内側の汚れを取り除きます。抜差管の表面の汚れをガーゼ等でふき取り、グリスを少量塗ります。グリスがなじむように抜差管を数回動かします。はみ出たグリスをガーゼ等でふき取ります。

< チューニング >



ダブルホルンの場合
最初にB管のチューニングを主管抜差管の抜き差しで行います。



次にF管のチューニングをF管抜差管の抜き差しで行います。



シングルホルンの場合
チューニングは主管抜差管の抜き差しで行います。

- * 楽器のピッチは温度によって変わります。管内によく息を吹き込んで温めてからチューニングをしましょう。
抜差管を抜く 低くなる
抜差管を入れる 高くなる